**令和4年度(2022年度)** 

 IN HATTIX	(1000								
管理事業名	総合的自転車対策事業			総合の位	大綱 6 都市形成 政策 2 安全・快適な都市を支える基盤づくり 施策 4 交通環境の整備				を支える基盤づくり
主な歳出 予算科目	一般会計	(款) 8	土木費	(項)	5	都市計画費	(目)	4	自転車駐車場費
部局名	土木部	予算執行 所属	総務交通室						

## 事業の目的と概要

【目的】

駅周辺における自転車等駐車場の確保及び自転車等(原付、自動二輪を含む)の放置防止策を実施する。

【概要】

自転車等放置禁止区域内での放置防止啓発、指導及び自転車等放置禁止区域外の放置自転車等の移送を実施する。 駅周辺に自転車駐車場を設置、運営し、市が定める場所への駐車を促進することにより、駅前の美観の維持を行う。 自転車コールセンターを設置し、移送された自転車等の返還及び自転車駐車場についての問合せへの対応を行う。

I 成果指標(活動指標)

_ L 成果指標(活動指標)					
指標名	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	指標の定義
放置自転車の移送台数	台	3, 201	3, 508	3, 485	1年間に市内放置禁止区域内外から移送した放置自転車の台 数
自転車駐車場の利用状況	%	73.1	73.9	76.5	収容可能台数に対する利用台数の割合

Π	活動実績	•	成果

- 71-217C/DC 7307C	
自転車駐車場の利用促進施策が一巡しているため、放置自転車の移送台数は前年度よりも微減している。撤去日時を工夫し、夕方の撤去を行うなど、経費の節減に努めている。自転車駐車場の利用状況については、利用者が減少している原付置き場を自転車置き場に振り替える等の処置を行った結果、増加している。	
1	<b>!</b>

## Ⅲ 課題と今後の取組

自転車駐車場は、昭和55年(1980年)に供用開始したJR吹田駅前西自転車駐車場で40年が経過し、市内31か所ある自転車駐車場のうち、ほとんどの自転車駐車場は建設後10年以上が経過している。

ひらいる。 経過年数の増加に伴い付属設備の老朽化も進み、また電動自転車の普及により、建設当時より自転車の重量化、子乗せ装置等の大型化が進んでおり、利用者のニーズに対応できていない部分がある。

今後、設備の更新及び施設の維持に関しては、費用がこれまで 以上にかかることもあり、老朽化した施設にどれだけのコストを かけて施設の長寿命化を図るか等、関係室課とも協議し、計画的 に進めていく必要があると考えている。

IV 財務情報 ◆貸借対照表【BS】 (単位:千円)

	見旧が赤女【ロコ】							(十四・113)
	勘定科目	令和3年度末 Λ	令和4年度末 B	差額 B-A	勘定科目	令和3年度末 A	令和4年度末 R	差額 B-A
	現金預金			_ U A _	流動負債	72, 911	63, 326	△9, 585
流	未収金	_	_	_	地方債	46, 953	38, 338	$\triangle 8,615$
動	財政調整基金	_	_	1	短期借入金	-	-	
資	短期貸付金	-	-	_	賞与引当金	2,840	3, 164	324
産		-	-	_	未払金	-,		_
	その他流動資産	-	-		リース債務	3, 882	2,588	△1, 294
	事有形固定資産	4, 011, 163	3, 815, 632	$\triangle$ 195, 531	その他流動負債	19, 236	19, 236	_
	土地 土	1, 643, 577	1, 643, 577	-	固定負債	388,000	327, 909	△60,092
	強物・工作物	2, 361, 116	2, 169, 467	△191, 649		183, 819	145, 482	△38, 338
	用リース資産	6, 470	2, 588	△3,882	長期借入金	-	-	-
	立 建议议划处	_	-	ı	退職手当引当金	28, 466	28, 536	71
	<b>無形</b> 回足貝性	3, 431	3, 431	1	リース債務	2, 588	_	△2, 588
_	1 有形固定資産	-	-	-	その他固定負債	173, 127	153, 891	△19, 236
固定	土地 土地	-	-	1	負債の部合計	460, 911	391, 235	△69, 676
定	建物・工作物	-	-	1	/ h26	0 507 155	0 1/1 10	
資	建設仮勘定	-	- 24 200	-	純資産	3, 596, 457	3, 464, 137	△132, 320
産	重要物品	42, 774	36, 308	△6,466				
	図書館資料	_	_	_				
	投資その他の資産	_						
	出資金	_		-				
	長期貸付金 基金	_		_				
					- 純資産の部合計	3, 596, 457	3, 464, 137	△132,320
	徴収不能引当金 その他債権				代見性の部立計	3, 370, 437	3,404,137	△132,320
咨	産の部合計	4, 057, 368	3, 855, 371	∧ 201 997	負債及び純資産の部	4, 057, 368	3, 855, 371	△201,997
貝	注くいい口口口	4, 057, 500	3, 033, 371	۵۷۵۱, ۶۶۲	兵債及び飛貝座の品 合計	4, 057, 500	3, 033, 371	۵201, 991

◆行政コスト計算書【PL】			( <u>Ė</u>	<u> 单位:千円)</u>
勘定科目	令和2年度	令和3年度 Δ	令和4年度 R	差額 R-A

	倒是什日	卫和24克	Α	В	B-A
	地方税	-	-	-	-
	分担金及び負担金	-	-	_	1
	使用料及び手数料	333, 422	339, 470	356, 968	17, 498
ν∇	国庫支出金(経常費用充当)	-	_	-	_
経	府支出金(経営費用充当)	-	-	_	1
常	財産収入	836	-	-	-
収	寄附金	-	-	-	-
入	他会計からの繰入金	-	-	-	-
	受取利息及び配当金	-	-	_	1
	その他	9, 611	10, 122	9, 731	△392
		343, 869	349, 592	366, 698	17, 107
	経常収入 小計(a) 給与関係費	39, 730	44, 183	37, 865	△6,318
	物件費	534, 327	541, 260	546, 000	4, 740
	維持補修費	37, 528	19, 434	29, 806	10, 372
	社会保障扶助費	-	_	-	-
経		2, 716	2, 736	2, 549	△188
常	特別会計への繰出金	-	-	-	-
費	減価償却費	199, 795	201, 900	201, 997	97
用	減価償却費 徴収不能引当金繰入額 賞与引当金繰入額 退職手当引当金繰入額	-	_	-	_
	賞与引当金繰入額	2, 629	2,840	3, 164	324
	退職手当引当金繰入額	1, 158	7, 136	2, 598	△4, 538
	支払利息	8, 381	7, 438	5, 753	$\triangle 1,685$
	その他	_	_	_	1
	経常費用 小計(b)	826, 262	826, 928	829, 732	2,804
	常収支差額 (a)-(b)=(c)	△482, 394	△477, 336	△463, 034	14, 302
特別	固定資産売却益	-	-	-	-
収	その他	-	-	-	-
入	特別収入 小計(d)	-	-	-	_
特別	固定資産除売却損	-	-	-	_
費	その他 特別費用 小計(e)	_	_	_	_
用	特別費用 小計(e)	_	_	_	_
特	別収支差額 (d)-(e)=(f)	_	_	_	_
느	般財源調整額(g)	-	-	-	-
当	期収支差額 (c)+(f)+(g)	△482, 394	△477, 336	$\triangle$ 463, 034	14, 302
	般財源充当額	367, 980	470, 038	330, 713	△139, 324
上	般会計からの繰入金	_	_	-	1
	般会計への繰出金	_		_	_
再	計	△114, 414	△7, 299	$\triangle$ 132, 320	$\triangle$ 125, 022

◆キャッシュ・フロー収支差	CF]	(≧	<u> 単位:千円)</u>	
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	差額

区分	令和2年度	令和3年度 A	令和4年度 B	<del>差</del> 額 B-A
行政サービス活動収入	343, 869	349, 592	366, 698	17, 107
行政サービス活動支出	627, 652	620,082	627, 340	7, 259
行政サービス活動収支差額	△283, 783	$\triangle$ 270, 490	$\triangle$ 260, 642	9,848
投資活動収入	-	-	_	-
投資活動支出	15, 345	130, 044	-	△130,044
投資活動収支差額	△15, 345	$\triangle$ 130, 044	-	130, 044
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	68, 851	69, 504	70, 071	567
財務活動収支差額	$\triangle$ 68,851	$\triangle$ 69, 504	$\triangle$ 70, 071	△567
収支差額 合計	$\triangle$ 367, 980	$\triangle$ 470, 038	$\triangle$ 330, 713	139, 324
一般財源充当額	367, 980	470, 038	330, 713	$\triangle$ 139, 324
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	_	-	_	-

財務諸事の特徴的か事項

財務諸表の					
勘定科目等	特徴的な事項				
【PL】 使用料及び 手数料	自転車駐車場利用数の増 (17,498千円の増加)				
【PL】 維持補修費	北大阪急行桃山台駅前東自転車駐車場自転車等搬送コンベア修繕(7,766千円)、江坂公園自転車駐車場火災報知器設備修繕(3,938千円)、阪急関大前駅東自転車駐車場修繕(2,948千円)				

## 単位当たりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」÷「実績」) 単位 令和2年度 令和3年度 令和4年度 駐車スペース1台 コスト 25,275 円 30,241 円 23,067 円 あたりのコスト 実績 19,648 台 19,449 台 19,457 台 19転移送1台あ コスト 39,591 円 37,872 円 34,447 円 たりのコスト 実績 3,201 台 3,508 台 3,485 台 「経常費用小計(b)」のうち、(目)自転車駐車場費は分 448,808千円で、自転車駐車場駐車スペース1台あたり、析 年間23,067円のコストが生じている。内「経常費用小計(b)」のうち、(目)交通対策費は120,050 容 千円で、移送1台あたり、34,447円のコストが生じている。

人にかかるコストの内訳

7 (10 /3 /3 /3 /3 / 1 V/) 3			
	給与関係費	月平均従事	
	等(千円)	うち時間外手 当等(千円)	人数(人)
常勤・再任用	40, 938	178	4.90
会計年度任用等	2,689		
特別職非常勤	_		_
合計	43, 627		

分析指標	(単位:%)					
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	差		
分析指標		Α	В	B-A		
施設老朽化比率	58.8	61.9	65.0	3.1		
施設維持補修費比率	0.6	0.3	0.5	0.2		
経常費用対公共資産比率	13.3	13. 3	13.4	0.1		
徴収不能引当率	-	_	-	-		
受益者負担比率	40.4	41.1	43.0	1.9		
一般財源充当比率	51.7	57.3	47. 4	△ 9.9		